

## ボーリング柱状図

調査名 \_\_\_\_\_

ボーリングNO.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 \_\_\_\_\_

シートNO.

ボーリング名	NO.1-1(右岸)	調査位置						北緯	36° 32' 34.0000"		
発注機関	栃木県鹿沼土木事務所			調査期間	2007-12-26 ~ 2008-03-21			東経	139° 41' 32.0000"		
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	164.59 m	角度		方角		地盤勾配	鉛直	0°	使用機種	エンジン	ハンマー 落下用具
総掘進長	9.12 m	度		方向		鉛直	90°	35.00°			ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	地層岩体 区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験 試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 方法	室内 試験	掘進 月日			
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数 0 10 20	打撃回数 ／ 貫入量 (cm)	10	20						30		
164.19	0.40	0.40	シルト (M)	暗褐色				上部5cm腐植土。軟弱層。含水比は中位。															
			礫混り粘性土 (C-G)	暗褐色				粘着中位となり、全体に少量の細砂混じる。礫径2から10mmの角礫少量混じる。極少量の腐植物混じる。含水比は中位から高位。															
162.49	1.70	2.10	粘土質砂礫 (GSC)	暗褐色				礫径2から25mmの角礫、風化礫主体となる。礫間粗中砂、粘土にて充填。全体に緩くルース。3.00から3.70m含水比やや高位。色調は暗褐色主体で、全体に褐灰色強く帯びる。		02/13 2.49													
160.69	1.80	3.90	風化頁岩 (Sh)	暗褐色				全体に風化やや激しい。全体に亀裂多く、礫、岩片状コア主体で、一部粘土化する。															
159.99	0.70	4.60	頁岩 (Sh)	暗褐色				コアは5から15cmの柱状主体。全体に風化変質する。岩質は変質によりやや脆い。亀裂の粘土化が見られる。含水比は中位から高位。8.20mより暗灰色の柱状コア主体となりやや新鮮な岩となる。岩質は硬く、叩くと高い音がする。ヘアークラックを含む亀裂が多く見ら															
155.47	4.52	9.12		暗褐色																			

